

令和8年度平塚市市民活動推進補助金

プレゼンテーション

平塚市協働推進課

令和8年3月7日

申請団体一覧

●入門コース

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	横内まちづくりを考える会	横内「マイタウンふれあい散策路」整備計画策定	10万	P1
2	「誰でも囲碁in平塚」実行委員会	第二回「誰でも囲碁in平塚」(ふれあいコンサート)	10万	P7
合計			20万	

●発展コース

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	一般社団法人 F-STYLEスポーツクラブ	ポッチャリリーダー育成事業	30万	P13
2	カベラ日本語の会	カベラ日本語の会「日本語教室」	21万	P33
合計			51万	

(※)令和8年度平塚市市民活動推進補助金については、組織基盤整備コース及び協働コースの申請はありません。

入門コース	20万
発展コース	51万
合計	71万

受付番号	入門コース1
受付月日	令和8年1月22日

令和8年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書 **（入門）**・発展・協働コース

1 申請団体概要

① 団体名	(フリガナ) ヨコウチマチヅクリヲカンガエルカイ 横内まちづくりを考える会			
② 所在地	平塚市			
③ 代表者名	鈴木 奏到			
④ 設立年月	2022年10月 (法人格取得年月 年 月)			
⑤ ホームページ	https://yokouchi-love.com/category/group/yoko-machi/ 上記「よこうち愛」HPの関係団体紹介に活動掲載			
⑥ 設立目的・経緯 団体設立の社会的背景や目的・経緯を記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> 横内地区においては、2002年に横内地区地域教育力ネットワーク協議会（通称：横内サポネット）が中心となり、地域みんなの学びの場として立ち上げた「横内マイタウンスクール」以降、地域有志とともに「横内ふるさとカルタ」、「オリジナルツグ・YOKOUCHI！」等の「ふるさと愛」の醸成に取り組んできた。 2015年には町内福祉村が中心になった「スマイル農園」が開設され、多世代ふれあいの場づくりを着手し、その後のコロナ禍の行事自粛時にはカルタに読み込んだ地域固有の箇所を巡る「スマイルウォークラリー」がスタートし、地域活動団体と地域有志が一丸となって”わがまち意識”から”わがまちづくり”への機運向上に務めてきた。 2022年の市民提案型協働事業におけるケーススタディ地区になったのをきっかけに、さらに住みよいまちにしていくための課題共有とその解決方法ならびに将来の姿を話し合う場を設けることを目的に連合自治会が中心となり、「横内まちづくりを考える会」を特命チームとして立ち上げた。 			
⑦ 活動の概要・実績 過去2年程度の主な活動の内容・対象者・実施時期などを分かりやすく記入してください。	2022年7月：市民提案型協働事業（「社会環境の変化に対応した地域活動の仕組みづくり事業」）のケーススタディ地区として、問題課題の話合いを開始 10月：横内マイタウンスクール20周年の「YOKOFES2022」にて”みんなの声聞かせてポストイット”を実施 参加者50名程度 2023年5月：「これからの横内まちづくりと地域活動を語ろう！」ミーティング開催 参加者30名 2024年3月：課題解決型地域活動補助事業（助成は横内連合自治会）を活用し、「横内ふるさとマップ」掲載情報・デザインを作成 2025年2月：「戦後80年わがまち横内のあゆみ」作成、「戦後航空写真（4時点）」を横内中学校に寄贈 11月：「大意見交換会」（『御霊神社の利活用』についてのアイデア）を開催 参加者29名 ＊2023年から月1回の定例会を開催			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	なし			
⑨ 令和8年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	なし			

⑩ 会員数	個人＝ 16 人 (うち平塚市民 16 人) 団体＝ 団体		
⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
	①	<u>個人情報のため、非公開としています。</u>	
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
	⑧		
	⑨		
	⑩		

2 補助申請の内容

① 事業名	横内「マイタウンふれあい散策路」整備計画策定
② 申請コース	(以下のいずれかのコースを○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> 入門コース ・ 発展コース ・ 協働コース
③ 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】 10万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは30万円以内・協働コースは20万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

<p>① 事業の目的</p> <p>「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。</p>	<p>横内地区においては公民館や地区福祉村、子供の家等の他には屋外で集える場も少なく、農繁期の田んぼでの地域交流BBQや地元神社境内でのラジオ体操等、交流の場づくりを工夫してきた。さらに、コロナ禍から開始したスマイルウォークラリーでは河川土手や地区内農道を利用し、子供や高齢者の安全に配慮したルート設定を行ってきた。</p> <p>かねてより本会においては、世代を超えた交流・集いの場、機会を整え、次世代に継承していきたいとの声を鑑みて2025年11月に実施した「大意見交換会」では、地区内の空地・未利用地、神社敷地・林地の有効活用、さらには空家を活用したふれあいの場づくりについて賛同と多くのアイデアが出された。</p> <p>そこで、これまでのふれあいの場づくりをより活かすため、健康・元気にも留意し、<u>安心して地域を巡ることのできる散策路整備計画を策定し、次年度以降、その具体的事業を推進していくことを目的とする。</u></p> <p>本活動を通じ、小中学校での地域探索・ふるさと愛の醸成、高齢者の健康・未病（フレイル対策含め）への貢献を期待するものであり、市内の学校運営協議会での学校地域連携・協働や地域包括ケアセンターの地域活動への関わり等への新しい事例となりうると考えている。また、連合自治会のバックアップのもと地域団体の枠をこえた有志を中心に推進していく試みは「これからの地域活動の仕組みづくりnote」（「社会環境の変化に対応した地域活動の仕組みづくり事業」の成果）での提案を実装化していく一例として有意義なものとする。</p>
--	---

<p>② 事業の内容</p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫があれば、分かりやすく記入してください。</p> <p>※ 発展コースを申請する場合は、これまでの活動をどのように充実・発展させていくのかが分かるように記入してください。</p>	<p>地区のふれあいの場づくりに合わせて安心して地域を巡ることのできる路づくりに向け、次の事業を実施します。</p> <p>1. 横内「マイタウンふれあい散策路」整備計画の作成 横内ふるさとカルタ、横内ふるさとマップ、ウォークラuteroot、通学路等の既存資料ならびに地区内空地・未利用地、ウォーキング利用が多い地区内道路等の現地視察から、候補となる場、ルートをリストアップし、概ね3ヶ年の整備計画（「マイタウンふれあい散策路づくり」）を作成する。 * 計画内容：休憩スポットでの健康・リラックス施設、季節の花壇、発光植物・木材チップ敷等、癒し環境の整備 ルート沿道での季節を実感できる植栽、ルート案内表示</p> <p>2. 今年度先行整備ルートと重点箇所の絞り込み 3ヶ年の整備計画のうち、整備の実効性が高いと思われるルートについて、地域住民の声を聞きながら今年度先行的に整備していく重点箇所を絞り込む。 * 先行ルート候補：①地区西側の八的稻荷～御霊神社～東照宮のルート ②青井橋～土安橋～北野橋～六兵衛土手西のルート</p> <p>3. 「マイタウンふれあい散策路」計画案の発信 本計画を地域住民や関係企業への周知していくとともに次年度以降の整備事業への協力・資金的支援にもつながるよう計画内容を紹介する。 * チラシの作成 * 地域情報局、オリジナルサイト「よこうち愛」等、SNSにアップ * 公民館祭りでの紹介</p>
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>1. 横内「マイタウンふれあい散策路」整備計画案の作成 ・ウォークラuterootを中心に散策路の沿道情報の現地調査（4～5月） 本会メンバー他、地域教育力ネット協議会団体メンバー 30名程度 ・本会定例会において、各ふれあい散策おすすめルートならびに整備内容の原案（6～9月） ・地域団体、小中学校ならびに地域有志を交えた3ヶ年整備計画の作成（10～12月）</p> <p>2. 今年度先行整備ルートと重点箇所の絞り込み ・本会定例会において、先行整備ルートならびに重点箇所（休憩スポット）での整備内容を整理（7～9月） ・HP「よこうち愛」を通じて、協力者を募集（7月）</p> <p>3. 「マイタウンふれあい散策路」計画チラシの作成 ・チラシの作成（11～12月） ・地域情報局、オリジナルサイト「よこうち愛」等、SNSにアップ（1～2月） ・公民館祭りでの紹介（2月）</p>
<p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象（受益者や地域）にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入してください。</p>	<p>これまでの横内地区の地域活動・わがまちづくりのさらなる進化として『地域活動の仕組みづくりnote』（社会環境の変化に対応した地域活動の仕組みづくり事業）において提案された地域一体・連携型の実践例となる、地域の環境美化、健康・未病、世代交流、わがまち意識の醸成に寄与する取り組みに展開していけることが期待される。加えて、地域学校連携のコミュニティスクールにおける活動例に寄与することが期待される。</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。 ※協働コースの場合、補助事業を行う団体等名称及び住所を必ず記入してください。</p>	<p>横内連合自治会 横内地区体育振興会 横内地区青少年指導員連絡協議会 地域教育力ネットワーク協議会（横内サポネット） 御霊神社</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

①	収 入	項 目	金額	具体的な内容（積算根拠等）		
		補助金	100,000 円	平塚市市民活動推進補助金		
		横内連合自治会	30,000 円	連合自治会予算の「地域団体活動支援」科目の一部を充てる		
			円			
			円			
			円			
		収入合計	130,000 円	発展コース：対象経費	円 × % = 円 補助金の申請限度額 円	
②	支 出	項 目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）
		現地調査用資料コピー	10,000 円	10,000 円	0 円	・資料5ページ*20人*10回 @10円
		計画策定会議資料コピー	10,000 円	10,000 円	0 円	・資料5ページ*20人*10回 @10円
		「ふれあい散策路計画」案デザイン外注	60,000 円	60,000 円	60,000 円	・デザイナー謝金3人日 @20,000円/人日
		「ふれあい散策路計画」案チラシ印刷	30,000 円	30,000 円	30,000 円	・A3カラー両面印刷中折 4000部 *ネット印刷
		「ふれあい散策路計画」案PRパネル	10,000 円	10,000 円	10,000 円	・展示パネルボードA1判 4枚 @2,500円
		その他インク代等	10,000 円	10,000 円	0 円	
			円	円	円	
		支出合計	130,000 円	130,000 円	100,000 円	※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。 また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目を記載してください。

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。

※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

横内まちづくりを考える会 規約

(名称及び事務局)

第1条 本会は「横内まちづくりを考える会」と称し、事務局を会長宅におく。

(目的および活動)

第2条 本会は、横内地区をさらに住みよいまちにしていくために問題課題を共有し、その解決方法ならびに将来の姿を話しあうことを目的とし、次の活動を行う。

- (1) 目的を達成するための情報交換・意見交換を行い、その内容について地域への発信・報告活動、
- (2) 目的を達成するための関連地域団体と連携活動
- (3) その他、目的を達成するために必要な活動

(構成)

第3条 本会は目的に賛同する横内地区に住む人および働く人が自主的に参加する会員によって構成する。

(役員及び役員の選出)

第4条 本会に、次の役員をおく。

- (1) 会長1名、副会長1名以上、会計1名以上 書記1名以上
- (2) 役員は会員の互選による。

(役員任期)

第5条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(総会)

第6条 総会は年1回、会長が招集する。但し、会長が必要と認めた時、もしくは会員の1/2以上からの請求があった時は臨時総会を開催する。

(定例会)

第7条 会員が意見交換する定例会を月1回行うことを原則とする。

(経理)

第8条 本会の経費は、寄付金、その他の収入をもってこれに充て、会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。

附 則

この規程は、2026年1月1日より施行する。

「横内まちづくりを考える会」 令和7年会計報告

令和7年1月1日～令和7年12月31日

月日	項目	収入	支出	差額	備考
1月12日	連合自治会	10,000			
1月12日	用紙		2,288		公民館祭り用
1月13日	コピー		330		
2月2日	コピー		300		
2月15日	用紙		1,076		公民館祭り用
2月21日	文房具		874		公民館祭り用
6月15日	コピー		550		
7月26日	コピー		240		
同上	デコタック		2,466		納涼祭用写真台紙
同上	デコタック		1,628		納涼祭用写真台紙
9月7日	コピー		140		
11月15日	コピー		150		
12月7日	コピー		140		
	収支計	10,000	10,182	-182	

受付番号	入門コース 2
受付月日	令和8年1月27日

令和8年度 平塚市市民活動推進補助金事業企画書

1 申請団体概要

①	だれでもいごいんひらつかじっこういいんかい			
団体名	「誰でも囲碁 in 平塚」実行委員会			
② 所在地	平塚市			
③ 代表者名	木谷正道			
⑤ ホームページ	http://			
⑥ 設立目的・経緯	<p>当会メンバーは、長年にわたり福山市、大船渡市、墨田区などで囲碁普及活動を行い、様々なつながりができたが、平塚には深くかかわってこなかった。他方、平塚市ではすばらしい囲碁普及事業が実施され、その最大のものが、目抜き通りを埋め尽くす「湘南ひらつか囲碁まつり」であった。</p> <p>昨年、第28回囲碁まつりを前に、自分たちにも何かできることがあるのではないかと考え、当会を設立し、第一回の連携イベントを行った。</p> <p>第一の目的は、囲碁を通じて、誰もが楽しく生きられるまちをつくること。第二は「囲碁ファンのイベント」から市民ぐるみ、まちおこし事業への発展。</p>			
⑦ 活動の概要・実績	<p>2015年10月、全盲の柿島光晴氏らが平塚盲学校囲碁指導を始め、いまでも続けている。障がいを持つ方々とのつながりが深くなり、10年で活動が広がった。</p> <p>2025年9月 平塚ろう学校を訪問し、コミック「ヒカルの碁」23巻 (INDIGOから)、囲碁関係書籍、囲碁のテキスト、小碁盤などを寄贈した。二回目の訪問であったが、校長はじめ皆様に、快く受け入れていただいた。</p> <p>2025年10月 第28回湘南ひらつか囲碁まつりに参加し、次の事業を行った。</p> <p>▼「とろろさんの楽しい囲碁イラスト100点展」開催 (文化芸術ホール)</p> <p>▼「ふれあいコンサート」、「ろう者による手話講演」、「誰でも囲碁入門講座 (視覚障がい者、聴覚障がい者、非障がい者)」、「重度障がい者とのオンライン対局実験」(まちかど広場)、UDカフェ&BAR「tetote」での交流会など。</p> <p>▼2025年10月 平塚ろう学校文化祭「平ろう祭」で生徒に囲碁指導を行った。</p>			
⑧ 過去に受けた助成等の実績	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
	神奈川県協ともしび助成	2025年4月	200,000円	イラスト借用費、コンサート出演謝金、広報費など
⑨ 2026年度に受ける予定の助成等	助成等制度名	助成年月	助成金額	助成内容
⑩ 会員数	個人=1.6人 (うち平塚市民1.1人) 団体=_____団体			

⑪ 活動体制	役職名	氏名	住所
活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	①	<u>個人情報のため、非公開としています。</u>	
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
	⑧		
	⑨		
	⑩		

2 補助申請の内容

① 事業名	第二回「誰でも囲碁 in 平塚」ふれあいコンサート
② 申請コース	(以下のいずれかのコースを○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> 入門コース ・ <input type="radio"/> 発展コース ・ <input type="radio"/> 協働コース
② 申請額	【申請額は1万円単位、発展コースは事業費に対する助成割合の制限有(1回目90%、2回目80%、3回目70%)】 10万円 (入門コースは10万円以内・発展コースは30万円以内・ 協働コースは20万円以内)

3 補助申請する活動・事業の内容

① 事業の目的 「なぜ、この事業を実施したいのか？」 「どんな課題を改善したいのか？」 「社会や市民のために、どのような公益性があるのか？」 などを、社会的背景を含めて具体的に記入してください。	ふれあいコンサートの目的は二つである。 1 年齢や障がいにかかわらず、誰もが楽しく生きていかれるまちを創る。 2 「囲碁ファンのイベント」から、市民ぐるみ、まちおこしの事業への発展。 平塚は「囲碁のまち」であると共に「福祉のまち」である。 四つの県立特別支援学校（平塚盲学校、平塚ろう学校、平塚支援学校、湘南支援学校）、知的障がいを持つ方々を支える（社福）進和学園、ひらつか障がい者福祉ショップ「ありがとう」、ろう者が活躍する手話カフェ UDCafe&BARなどは、他にない素晴らしい地域資源である。 「ふれあいコンサート」は囲碁と福祉をつなぐ。障がいを持つ方々や、これまで囲碁にご縁のなかった方々にたくさん来ていただき、誰でも囲碁まつり、市民ぐるみの囲碁まつりに発展させたいと考えている。 特に、今年初のプログラムを二つ実施する。 一つはオープニング「いのちの大太鼓」。全盲の和太鼓奏者・片岡亮太氏が精魂込めて叩く。まち中にイベントの開始を告げ、ろう者の身体を震わせる。 フィナーレが手話ダンス「囲碁祭り音頭」。昨年、全盲のシンガーソングライター大石亜矢子氏が作詞作曲し弾き語った。今年UDCAFE&BARのマスターinocci氏が振り付け、ダンス指導を行う。老若男女、聴こえない方も聴こえる方も一緒に輪をつくり、その輪が毎年大きく広がっていくことを願っている。
---	--

<p>② 事業の内容</p> <p>①の事業の目的で記入した内容をふまえて、具体的な活動・事業内容を記入してください。</p> <p>事業の先駆性・発展性・公益性・新しいアイデアや工夫などがあれば、分かりやすく記入してください。</p>	<p>10月※日(日): 囲碁まつり当日■</p> <p>◎11時30分-12時30分「ふれあいコンサート」(まちかど広場) 300人</p> <p>▼オープニング大太鼓(片岡亮太、全盲)</p> <p>▼ホルン(山村優子、片岡氏のパートナー)</p> <p>▼とびっきりレインボーズ(進和学園、知的障がいを持つ方々と職員のバンド)</p> <p>▼魂のヴァイオリニスト白井崇陽(全盲)による「ヒカルの碁OP」</p> <p>▼ピアノ弾き語り(全盲のシンガーソングライター・大石亜矢子)</p> <p>▼MIKUMIとKAORIのアンサンブル</p> <p>▼フィナーレ「みんなで踊ろう! 手話ダンス 平塚GO 囲碁祭り音頭」(大石亜矢子詞曲歌/振り付け&指導(UDCafeのinocciと仲間たち)引き続き、午後は、</p> <p>◎「誰でも囲碁入門講座 視覚障がい者向け(柿島光晴)、聴覚障がい者向け(竹DS)</p> <p>◎「おりひめ碁縁パレード」織姫、園児、女性囲碁入門教室終了者など</p> <p>◎「囲碁ロボットせんちゃんに挑戦しよう!」</p> <p>◎囲碁アプリ「囲碁であそぼ!」「囲碁シル」など</p> <p>◎囲碁グッズ、碁石ストラップ、MIKUMIの手織り販売</p> <p>◎18時-「誰でも交流会」UDカフェ&バー(手話カフェ)会場至近 20人</p> <p>◎入場行進から始まる市の多彩なプログラム、特に、パールロードを埋め尽くす「千面打ち」は圧巻です。一度見ていただければ「囲碁のまち平塚」に魅了され、本会の事業もあわせ、「囲碁のまち平塚」へのリピーターになってくれると考えています。</p>
<p>③ 事業の計画</p> <p>活動・事業の実施場所、実施方法、実施時期、参加者や受益者等の対象、参加人数などの計画やスケジュールを具体的に記入してください。</p>	<p>●広報・集客計画 イベント成功のために最重要</p> <p>1 WEBとSNS(前述)</p> <p>2 メール・チラシ・ポスター送付: 市内小中高校、大学、ろう学校、盲学校、保育園・幼稚園、公民館、福祉村、市民活動グループ、全国の囲碁グループ・碁会所・囲碁センターなど</p> <p>3 日本棋院: WEBサイト、ブログ、囲碁教室生徒</p> <p>4 近隣都県で囲碁を正課に採用している大学: 指導棋士を通じて参加依頼</p>
<p>④ 期待される効果</p> <p>活動・事業実施により、対象(受益者や地域)にどのような効果や成果を期待できるかを具体的に記入して下さい。</p>	<p>1 障がいを持つ方々の参加と交流が進む(特に、聴こえない方々)。</p> <p>2 囲碁に無縁であった方々を含む、市民ぐるみ、まちおこしの事業に発展する。全盲の方の障がいは、外見もあり重く見えるが、現在ではかなりの文字は「聞く」ことができるし、何よりも肉声で会話ができることが大きい。</p> <p>また、柿島氏の活躍で、視覚障がい者への囲碁普及はかなり進んできた。</p> <p>他方、ろう者のコミュニケーション・ギャップは非常に大きい。</p> <p>UDトークなど音声で文字にするアプリが発達してきたとはいえ、手話ができない健聴者とのコミュニケーションは現実にはとても難しい。</p> <p>囲碁は別名を「手談」といい、言葉を必要としないので、聴こえない方々は着手を通じて深いコミュニケーションを取ることができる。</p> <p>この事実を市民に知っていただくだけでも、「誰でも囲碁」とふれあいコンサートの意味があると考えている。</p> <p>今年は、初めて「囲碁旅館」を活用した一泊二日の「囲碁三昧」事業を行う。</p> <p>■前日(土)のランチオンおしゃべり、記念囲碁大会、前夜祭、囲碁合宿と</p> <p>■当日(日)の諸事業により、文化に立脚した平塚の賑わいが増すと思われる。</p>
<p>⑤ 協力団体等</p> <p>活動・事業に協力される人、団体を記入してください。</p> <p>※協働コースの場合、補助事業を行う団体等名称及び住所を必ず記入してください。</p>	<p>平塚盲学校囲碁ボランティア、(社福)進和学園、同保育園、NPO法人暮らしと耐震協議会、UDCafe&BAR、平塚ホテル旅館組合、やまいち旅館、藤沢囲碁普及会、大田区パーキンソン病友の会、高次脳機能障がいと囲碁の会、(公財)日本棋院、日本棋院アトムネット支部、(一社)日本視覚障害者囲碁協会、首都防災ウィーク実行委員会、東久留米市滝山住宅悠々会など。</p>

4 収支予算書（申請事業に限定した予算）

① 収 入	項 目	金額	具体的な内容（積算根拠等）		
	補助金	100,000 円	平塚市市民活動推進補助金		
	寄付金	60,000 円	個人からの寄付		
		円			
	収入合計	160,000 円	発展コース：対象経費 円 × % = 円 補助金の申請限度額 円		
② 支 出	項 目	事業費	うち対象経費	うち補助金	具体的な内容（積算根拠等）
	謝金	160,000 円	160,000 円	100,000 円	ふれあいコンサート出演者等謝金 1 @20,000 × 6 人 = 120,000 円 片岡亮太（大太鼓、全盲）、山村優子（ホルン）、大石亜矢子（ピアノ弾き語り、全盲）、白井崇陽（ヴァイオリン、全盲）、佐野和子（手話通訳） 2 @10,000 × 4 人 = 40,000 円 原香織（総合司会）、竹DS（聴覚障がい者入門講座、ろう）、柿島光晴（視覚障がい者入門講座、全盲）、中村哲啓（重度障がい者移送謝金）
		円	円	円	
		円	円	円	
	支出合計	160,000 円	160,000 円	100,000 円	※備品や器具を購入する場合は、それが事業に必要な理由を記載してください。また、飲食代など助成の対象とならない経費を支出する場合は、「参加費から支出」など収入項目を記載してください。

※収入の補助金の金額は、補助申請した金額を記載してください。また、支出のうち、補助金から支出する金額を記載してください。

※収入合計と支出合計、また、収入の補助金と支出のうち補助金の合計は同額になるようにしてください。

「誰でも囲碁 in 平塚実行委員会」規約・役員名簿（令和7年12月1日現在）

第1条（名 称）本会は、「誰でも囲碁 in 平塚実行委員会」と称する。

第2条（事務所）本会は主たる事務所を神奈川県平塚市内に置く。

第3条（目 的）本会は、主として「湘南ひらつか囲碁まつり」関連事業の企画・運営を通じて、老若男女、障がいがあってもなくても、誰もが楽しく、幸せな「囲碁のまち平塚」をつくることを目的とする。

第4条（事 業）本会は次の事業を行う。

- （1）「湘南ひらつか囲碁まつり」に連携した「誰でも囲碁 in 平塚」などのイベントの企画・運営
- （2）聴覚・視覚・知的など様々な障がいを持つ方々への囲碁普及活動
- （3）他の地域で実施される諸事業との連携・協力
- （4）その他、本会の目的を達成するために必要な事業

第5条（会 員）本会の趣旨に賛同する方は、誰でも会員として活動することができる。

第6条（役 員）本会に次の役員を置く。

- （1）代 表：会を代表する
- （2）副代表：代表を補佐し、必要があればその職務を代行する
- （3）事務局長：会の企画・運営に関する業務を担う。
- （4）監 事：事務及び会計を監査する

第7条（会 議）会議は、対面、Zoom、またはメーリングリスト等の手段を用いて随時開催する。

第8条（会 計）会の財政は、助成金・寄付金・事業収入等によって賄うものとし、会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。会の会計は、日本棋院平塚支部において処理する。

【附 則】

- 1 本規約は、令和 7年4月1日から施行する。
- 2 令和7年 8月1日に一部改正。
- 3 令和7年12月1日に一部改正。

<役員名簿>

代 表：木谷正道（平塚市在住）

副代表：

事務局長：

監 事：

個人情報のため、
非公開としています。

令和7年度決算見込み

令和8年1月27日

「誰でも囲碁in平塚」実行委員会

項目	金額	備考
A 総収入見込み	253,231	
助成金	200,000	神奈川県社協ともしび助成
寄付金	53,231	
協賛金	0	
B 総支出見込み	253,231	
諸謝金	140,000	コンサート出演、映像記録・編集など
旅費交通費	5,770	タクシー代
印刷製本費	35,771	チラシ・ポスター制作費、コピー代など
通信運搬費	17,550	レターパック、FAX送付代
消耗品・器具備品費	24,140	用紙、インク、封筒、マグネット、新聞購入
賃借料	30,000	囲碁イラスト100点借り上げ
C 差し引き収支見込み (A-	0	